

# 板橋公園基本構想策定

## 第2回板橋公園のあり方検討委員会

日時・場所

日 時： 令和3年12月20日（月） 10：00～12：00

場 所： 板橋公園内集会所（リモートによる出席あり）

出席者

	参加方式	出席者
あり方検討委員	会議場所参集	斉藤博委員、黒坂祐二委員
	リモート参加	竹内智子委員長、岸井隆幸委員、木村智子委員
板橋区	会議場所参集	土木部長、みどり公園課長、佐藤係長、杉本担当、安部担当

※本業務の受託者（株式会社パスコ）から3名出席（集会所参集）

本日の次第及び配付資料等

- 1 開会
- 2 議題
  - (1) 課題、ポテンシャル、機能の整理について（報告）
  - (2) 素案アンケートについて（報告）
  - (3) 素案の修正について
- 3 閉会

### 【配付資料】

- 資料1 課題、ポテンシャル、機能の整理
- 資料2 素案アンケート（区施設配布版）
- 資料3 素案アンケート集計結果
- 資料4 板橋公園基本構想（素案）
- 資料5 第1回議事録
- 追加資料 素案アンケート集計結果（ターゲット層分析あり）

## 議事内容

### 1. 開会

### 2. 議題

(1) 課題、ポテンシャル、機能の整理について（報告）

(2) 素案アンケートについて（報告）

(3) 素案の修正について

以下より、議事

竹内委員長	おはようございます。本日は朝からありがとうございます。今回は事前に送らせていただいております資料により、基本構想を完成させるということになります。構想素案に対して、区民の皆さまのご意見をアンケートにより整理したので、ご意見をどういう形で反映できるか、事務局から説明していただいて、本日はこの構想案を固めたいと思います。それでは、資料の確認と説明を事務局からお願いします。
事務局	事務局から資料確認及び説明 <事前配付した資料1から資料5、追加資料の確認及び資料1、2、3、追加資料について>
竹内委員長	今までのところでご質問を受けたいと思います。また、もう少し説明が欲しいところなど、ございませんか。 では、私から質問します。ターゲット層の30代40代の女性の母数は何人いらっしゃるのですか。
事務局	母数は、追加資料の4ページ右側でございますが、全回答数108件のうち、ターゲット層の回答数は全部で30件になります。
竹内委員長	追加資料の青字の件数は、30人のうち何人の意見ということですね。あともう1つ質問になりますが、回答の中に20歳未満で1人「改善（変更・修正）が必要」とあえて出してくださっている若い方がいらっしゃいますが、この方の意見はどのような意見だったのでしょうか。若い人があえて改善したいという意見を出していただいているので、大事にした方が良いと思いました。今までのところ、他に何かご質問のある委員の方いらっしゃいますか。
黒坂委員	よろしいでしょうか。30代40代の板橋区ブランド戦略のターゲット層ということですが、これは何のためでしょうか。なぜ女性の30代40代を出しているのでしょうか。
事務局	はい。ブランド戦略という別の構想があるのですが、主に子育て世代をターゲットにしています。やはり、ずっと住んでいただくという観点から、子育て世代が大事な層になるということで、それを1つ提示しているということです。
黒坂委員	はい、わかりました。

竹内委員長	ありがとうございます。あとは保育園の方にもご意見を伺ったと聞きましたが、保育園の職員の方、それとも保護者の方の意見も入っているのですか。
事務局	アンケートは保護者の方に、お渡ししております。
竹内委員長	近隣の高齢者施設は入っていますか。
事務局	今回は申し訳ありませんが、高齢者施設は入っておりません。
竹内委員長	高齢者施設の利用者は入っていないということですね。他に何かご質問はないでしょうか。では事務局から続きのご説明をお願いいたします。
事務局	事務局から資料説明 <追加資料テーマ1の「足りないワード」及び「区の考え方(案)」について>
事務局	先ほどご質問のあった20代未満の1名の意見ですが、アンケート原本を読み上げさせていただきます。まず、交通のテーマに対する意見は、「コンクリートがガタガタしすぎてこげやすい」「ボール使うゾーンを用いて欲しい」、それから交流のテーマについては、「イベントを開催する」、それから緑のテーマについて、「雑草などを刈ってきれいにしてから新しい緑を取り入れる」、ゾーニング全体については、「中の危険性がないような公園」、それから自由意見ですが、「自分が12歳で結構遊んでいます」「よくこげます」ということで、12歳の意見を今調べました。これはWEB回答でいただいた意見です。
竹内委員長	はい、ありがとうございます。すごく貴重な意見で、なかなかいいですね。ありがとうございます。では、事務局の説明は以上で大丈夫でしょうか。
事務局	はい、テーマ1に関しては以上です。
竹内委員長	ではここで、素案の修正についてのご意見をいただきたいと思います。委員の皆さまから素案のアンケートの結果を受けて、取り入れられるという点を重点的にご意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。木村委員お願いします。
木村委員	スマートモビリティの定義やその内容については高齢者や障がいのある方たちをアシストする乗物についてご検討されていて、UDアドバイザー会議にご意見を聞かれるという話を聞いて、とても良いと思いました。現在は、電動車イスが非常に普及してきて、街中にそれで出られる方が増えているのを実際に感じていますが、その方たちによると、電動ではない車イスの場合と電動の場合とで全く扱い方が違うようです。それをどのように障がいのない方がアシストできるかということも交通公園の中で学んでいけるといいと思います。これから高齢の方がますます増える時代に、電動車イスのようなツールが一般的になってきて、利用される方が増えるのではないかと思います。今までは少数派だったので、街中であまりトラブルなども起きなかったように思います。自転車対人間の事故が起きると同じように、電動車イスと人の事故というのも増えてくる可能性もあるので、このような視点を自転車だけではなくて、電動車イス(スローモビリティ)などについても、交通公園の中で扱われることはとてもいいと思いました。以上です。

竹内委員長	はい。これに関して事務局から何かコメントはございますか。
事務局	ご意見ありがとうございます。まさにそのようなことで、新しい交通公園としてこのような着眼点は今までなかったと思いますので、積極的に取り入れていきたいと考えております。以上です。
竹内委員長	そうですね。ご意見の中にも「インクルーシブ」とか「世代間の交流」というところと関係してくるので、そのような視点を入れられるといいと思います。では、岸井委員からも、スマートモビリティの定義をどういう形で構想に入れたらわかりやすいか、ご意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。
岸井委員	はい、ありがとうございます。皆さんがイメージされるものは新しいモビリティだと思いますが、新しいモビリティといっても対象をどのようなものにするのかによって異なります。例えば古いバスの話が出ていますが、もっと新しいバスタイプのものもあるので、それを見ていただくというのも、もちろんあると思います。ただ、私自身はいろいろな乗り物を見ていただくという意味合いぐらいの話で、実は「スマート」という言葉をあまり気にしていません。スマートモビリティを明確に定義しなければいけないとあまり思っていません。みんなで見て楽しいものがあるいろいろなことで問題ないです。その中に、たまたまスマートなものもあるという程度だと思っています。
竹内委員長	そうですね。あまりガチガチに定義をしてしまうのも、またそれで理解しづらくなってしまったと思います。これをイメージする画を表現するのは難しいですか。何か楽しそうにいろいろな使い方をしているような画があるといいと思います。「わかりづらかった。」「わからなかった。」という意見も結構あったように思いますので、そこを分かり易く、どう伝えるかということも大事なことだと思います。アンケートのご意見では、強烈に反対している方もいらっしゃらず、改善点を見ると、どちらかという和管理やソフトの部分に対してのご意見が多いと思いましたので、大きく方向性を変える必要はないと思いますが、これから如何に管理を充実させていくのか、区民の方とどういうものを作っていくのか、地域との共有をしていく必要があると思います。地域の方、わかりやすさという点で、黒坂委員のご意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。
黒坂委員	2つありまして、まず「交通教育を本公園で実施」というところがありますが、それは実施した方がいいと思いますが、交通公園では、自転車は左回りで一方通行でグルグル回れるような形態になっています。実際に子どもたちが、いざ公道に出た時に、道路は一方通行ではないので、現在は一方通行で対向車が来ない前提の交通公園になっているので、危なくないように配慮して対向車があるような形で作らないと教育にはならないと思っています。実際に低学年の小学生と話していると、自転車は左側通行なのか右側通行なのか、どちらか全然わからないまま走っているような状態なので、教育するのであれば、そこまで実際の道路と同じような形でやってく必要がある。それと、体験コーナーのよ

	うなお話がありました、それはいいことだと思っています。今は段々と障がい者の車イスや自動の車イスが、先ほどのお話のとおり、いろいろと増えていきますので、車イスの押し方の体験や車イスに自分が乗ってみて坂道を前向き行ったらどれだけ怖いとか、あと目の不自由な方の介助はどうするのか、これは手を持ってはいけなくて、肩につかまってもらえるなどの心遣い、そのような教育も必要で、例えば歩道と横断歩道をつかって、目の不自由な方がそこにいらっしまったときは、このようにするなどの教育も必要だと思います。体験コーナーというのは、良いことだと思っています。以上です。
竹内委員長	区民の皆さんから出てきたご意見に答えるようなご意見と思いましたが、事務局からこれに関して何かございますか。
事務局	実際の道路と同じ対面交通ということに関しては、現状の交通公園では安全性を考えて、足漕ぎゴーカートと自転車がぶつからないようになど、そのようなことも含めて一方通行にしていると思いますので、これにつきましては今後、どのような乗り物入れていくかということにも深く関係しておりますし、例えば、いろいろな乗り物を共存させるためには、時間的な区切りなど含めて考えていくかどうか。これは計画の段階で、後ほど安全性についても出てきますが、きちんと詰めていかなければならない問題であると思っております。それから、視覚障がい者の方に対する考え方のご意見をいただきましたが、これにつきましては、まだ検討していない部分ですので、またUD会議の方で改めて意見を伺って反映させていただきたいと思っております。以上です。
竹内委員長	私は国交省のバリアフリーのガイドラインの委員もやっているのですが、その委員会でもソフトの部分に関しては、これからすごく大切であるというお話が出ています。計画の早い段階から、当事者の方々のご意見を伺える機会があるといいのではないかとこの話も議論されています。UDアドバイザー会議という素晴らしい会議があるのでしたら、ソフトの部分の協力をいただけるかどうかも鍵になるのではないかと思います。講座などをどのように開催したらよいのかなど、ご相談できるのではないかと思います。斉藤委員はいかがですか。皆さんのアンケート結果をどのように取り入れたら良いかというところで、何かご意見いただければと思います。
斉藤委員	いろいろご意見が既に出っていますが、やはりモビリティに関しても、最近の新しい電動のセグウェイから始まって、そのツールとして多様なものがありますので、体験したり、発見したりというのが、この交通公園としての新しい未来につながるだろうと思います。そういうものをトレーニングできるのも非常に重要だと思います。それと先ほどの高齢者のアシストについてですが、私が少し関わっているのは、電動ではない普通の車イスに、後ろからセグウェイのような2輪車でアタッチできるものがあります。電動ではない車イスを非常に重たそうに、お年寄りがお年寄りを押している姿を見かけますが、普通の車イスにそれを接続すると、ステップがあつて非常に低速ですが、ハンドルも切れ

	<p>るようになっていて、介助者へのサポートのようなアシストできるものが最近出始めています。先ほどのUDアドバイザー会議のようなところからの支援で情報をいただいたりして、いろいろな発見があるといいと思います。以上です。</p>
竹内委員長	<p>今回はアンケートしていないというお話でしたが、前回に岸井委員からもご意見ありました周辺にある高齢者施設から、実際に使う側としてアドバイスをいただくのもいいのではないかと思います。他にご意見いかがですか。</p>
岸井委員	<p>これは事務局に対するお願いですが、リニューアルに向けた基本構想素案アンケートの資料2の3ページ、4ページの図は、公園の範囲しか描いていない図面になっていますが、アンケートで出すものとしては間違っていると思います。周辺を入れた図を描いていただきたい。先ほどの高齢者の議論もそうですが、周りに何があるのかを示していないと、公園を整備する側の認識として、公園の部分しか頭に入っていない。これでは本当は整理のしようがない。周りに何があるかわからないので整備の方向性が決まらない。是非、公園の周りの状況もしっかりと図面の中に入れていただきたい。今後もいろいろアンケートなどをやり取りされると思うので、是非これはお願いしたいと思います。なお、実態がわかっていませんが、高齢者施設にもし公園をお使いいただけるような方が多少なりともいらっしゃるのであれば、少しでも意見を聞いていただけると良いという気がいたします。以上です。</p>
竹内委員長	<p>大変貴重なご意見ありがとうございました。確かに公園は、公園の図面だけで設計してしまうところもあり、本当はそれではいけないと思います。ここは区界に近いところですが、区界近辺だと区内の範囲しか図面がなく、その周りは真っ白だったりするので、このアンケートでも資料2の周辺の公園配置図には、せめて徒歩圏内は詳細な図面があった方が良いです。歩いて来られる方がどのぐらいの範囲にいて、そこにはどういう住宅があり、どういう公共施設があるのかということは、設計・計画する側もきちんと把握すべきだと思いますので、是非この周辺公園配置図の徒歩圏内は少なくとも詳細な図面を共有しながら議論できたらいいと思います。事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。周辺を含めた図面につきましては、もちろんご意見の通りだと思いますので、今後に提示する資料につきましては、是非、周辺も含めた図面にしたいと思います。それから徒歩圏というお話ができましたので、伝えておきたいことがございます。実は、KDDIのビッグデータを試用的に活用した期間がございます。著作権の関係でデータを公開することができないのですが、徒歩圏ということで公園の利用者が大体どこの辺りから来ているのか調べました。公園を中心に丸を書いて範囲を段階的に広げていくと、半径2キロまで広げた時に、利用者のほぼ全員が入ったということがわかりました。利用者はあまり遠くからではなく、公園の半径2キロ以内の方がほとんどだということがわかりました。2キロというと、交通機関を利用するというよりは、おそらく徒歩と自転車で来園しているだろうというところで、現在この公園で問題になってい</p>

	<p>る「駐輪場が全然足りない」「道路まではみ出して駐輪している」という意見の1つの裏付けになっているということがわかりました。それと利用者の年齢層になりますが、土日祝日の休日と平日を比較して年齢層に大きな変化があるかどうかを調べましたが、変化があまりなかったという結果で、休日も平日も意外と同じような利用のされ方をしているということがわかりました。それからもう1つ補足になりますが、先ほどの交通教室の話に戻ります。板橋区では、某保険会社と協定を結んでおりまして、保険会社からいろいろな講習会などができるプログラムを提示していただいている、地域や区と合うプログラムがあれば、それを実施させていただくという協定を結んでおります。このプログラムの中には交通教室があり、高齢者をターゲットにした交通教室や親子を対象にした交通教育プログラムなども案として出ているので、交通公園が完成した際には、そのようなものを積極的に取り入れていくということが考えられます。以上が補足の説明になります。</p>
竹内委員長	<p>他に全体的なご意見、細部のご意見ございますか。あとは、アンケートで多くの意見が出ているが、抜けている視点をどう入れるかという観点からも、ご意見いただければと思います。</p> <p>では、私から申し上げますが、ご意見を見て、ソフトの部分ともう1つ大事な部分はゾーニングに関することだと思います。多世代が利用するというところで、ニーズが多様になっていて、ある程度エリアを分けて広い芝生を楽しみたいという意見がかなりあるようです。ゾーニングに関わる部分のご意見として出ていたように思いますが、事務局は、これに対して何かを達するような考えは何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>今は、テーマ1の交通の部分だけです。この後にゾーニング図に対するご意見も整理しておりますので、そこで説明することでもよろしいでしょうか。</p>
竹内委員長	<p>そうですね。今はテーマ1のところだということで、では続けてご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局から資料説明  &lt;テーマ2について&gt;</p>
竹内委員長	<p>それではこのテーマに関して、各委員からご意見何かございますか。では、斉藤委員をお願いします。</p>
斉藤委員	<p>テーマ2の1番下に室内施設・集会所等という文章がありますが、この捉え方としては、多分たくさんスペースが確保できるわけではないので、イベントや各種講演会にも使いたいという区のご意見もありますし、これは従来の集会所ではなくて、もう少し積極的に使えるスタジオ、またはギャラリーなど、いろいろと多用途に使えるような空間、もちろん集会にも使える形で、例えばテーマ1にも絡みますが、交通教育のときに新しく開発されたものを展示して、みんなが見ながらそこから何かを学ぶというようなことにも使えるような、開放された施設で使えると良いと思います。以上です。</p>

竹内委員長	ありがとうございます。このご意見に対して事務局から何かございますか。
事務局	これに対しましてはおっしゃった通りで、今まさにここは集会室ですが、このような和室の空間だとフレキシブルな対応ができませんので、そのようなものではなく、あるいは追加になるかもしれませんが、いろいろなイベントや場合によっては講習会などにも対応できる設備を備えた室内を整備していくということは考えられると思います。ただし、集会所として廃止するわけではないので、イベント時にどうやって共存させていくか、管理はどこがやり、どのような予約の方法にするのかというところがまだ課題としてありますので、これは関係部署と整理をしながら詰めていきたいと思っております。
黒坂委員	集会所は、どれぐらいのスペースを考えているのですか。
事務局	建蔽率の関係がございしますが、現在より縮小するという事は考えていません。
竹内委員長	最初の前提として、集会施設の改修も含めて、その上位にこの構想があるという位置づけでよろしいでしょうか。事務局に確認ですが、建物用途をこれから決めていく上で、建物に何の機能を入れるのかの議論になる時に、「コンセプトとしてこれが構想に位置づけられているからこの機能は必要です。」ということが発想の前提でよろしいでしょうか。
事務局	はい。集会機能をなくすということはありません。地元の要望もいただいておりますので、集会機能は継承させていきたいと考えております。
竹内委員長	アンケートでも貴重な意見として入っていますので、必要な機能をここに位置づけていけば、建物の設計の際にも反映できるということです。特に交通に関する講習なども、この場で使えればというご意見もあったと思いますので、その辺りが位置づけてあれば良いかと思えます。他にテーマ2の交流の部分で、何かご意見ございますか。はい、黒坂委員お願いします。
黒坂委員	はい。「休憩や飲食を伴うベンチやテーブル」という部分に関してですが、もう10年ぐらい前に、ベンチで寝泊まりしている方々が必ずいたので、長椅子のベンチを寝られないようにしています。またこのような施設をつくった時には、多分同じようになる気がしますが、その対応をどうするのか。そしてゴミ箱を置くと、すごいゴミになってしまうので、あまりゴミ箱を置かないようにしていますが、ゴミに対しての管理をどうするのか。民間が管理するのであれば、毎日のように清掃をすると思いますが、今までと同じように公的機関が管理すると、町会の近隣のお年寄りをお願いして掃除しているように負担があるわけです。皆さんが交流できるようにベンチを置いてほしいですけど、弊害も出てくることについてお聞きしたい。あとは、飲食を伴う何かをしたいという時に私が考えていたのは、道の駅ではありませんが、「とれたて村」という板橋区は農家もありますし、そういうものが出前で広場にできるようなものがあると、買い物難民になっている団地の高齢者たちが外に出てくるのではないかと思います。皆さんとお話は進めていきましたが、その辺りの考え方をお聞か

	せいだければと思います。
竹内委員長	今のご意見ご質問に関して事務局からよろしいでしょうか
事務局	はい。ベンチとゴミ箱の問題ですが、これはどこでも悩みのタネになってしまっていて、特にベンチの問題については、あくまで例えばですが、可動式のベンチやテーブルなどを設置しているような公園もございます。それは、例えば夜間は仕舞ってしまうとか、それから飲食施設の周辺に可動式テーブルの設置とかが、1つの案としてはあると思います。ただ、これは相手のある話で、民間の協力でどこまでアイデアとしていただけるのかということもありますので、いろいろな案を考えつつ、対応していきたいと考えています。それからゴミ箱に関しても、普通のゴミ箱だと問題が出てくると思いますので、あくまで飲食施設を伴う専用のゴミ箱にして、ゴミの回収を徹底するというのを民間が入った場合には考えていきたいと思っています。それと飲食施設について触れていますが、移動販売という話もいただいているので、これは今後の民間サウンディングで、民間で何ができるかというアイデアの中で、もしうまく行けば、それも考えていきたいと思っていますが、今の段階では実際に採算が取れるかという話もありますので、民間とお話をしながら取り入れられるものは取り入れていきたいと考えております。
竹内委員長	ありがとうございます。管理の段階では、民間参入も含めて、管理面の時に考えていくという事務局のご回答です。黒坂委員はよろしいでしょうか。では木村委員をお願いします。
木村委員	今のお話しやアンケートの回答を伺っていると、公園を利用される皆さんが、お客様気分であらっしゃるような印象をととても受けました。自分の公園であれば、ゴミが落ちていれば自分たちで拾って、どうしたらいいかという話になるのですが、そうではなくて「ゴミの問題はどうする。」「管理をどうする。」というように誰かがやるものという発言がとても多く感じます。今回は、ハードについてリニューアルのやりとりをしているという印象なので、このような形になるとは思いますが、今後、これから進めていくにあたって、自分たちの公園であって、自分たちで管理するくらいの気持ちを持つような仕掛けが必要だとアンケートを見ているとすごく思います。例えば、「交流が生まれる公園」と書いてあります。交流は自分たちが起こしていくものなのですが、その交流を誰かがイベントをやってくれたりして誰かがその場を用意してくれる、生んでくれるようにして欲しいというように考えていらっしゃるのではないかと思います。もちろん、お一人お一人はいろいろと考えていると思います。交流は自分たちが生んでいくものだという発言が出てくるような仕掛けというのが、今後は必要なのだろうということをこのアンケート回答から非常に強く感じたので、今後の検討事項に入れていただけたらと思います。以上です。
竹内委員長	貴重なご意見ありがとうございました。これについて事務局からいかがでしょうか。

事務局	確かに区民の参加というところで言えば、これからご説明しますテーマ3の「みどりと花と交通が溶け合う風景を・・・」の中に、「区民参加による花づくり」ということを謳っていますが、これだけでは確かに少ないという気はしています。今はどのような形とするかは言えませんが、もう少し各方面にそのようなものを意識させるような表現ができれば良いと思っており、今後の計画も含めて考えていかなければならないことだと思っております。以上です。
竹内委員長	ありがとうございます。区側の回答で例えばゴミ処理問題の回答案に「回収を徹底する。」など、区側が問題を発生しないようにするような書き方をしていますが、逆にゴミを捨てるのは利用者なので皆さんがゴミを捨てないように心がけて、意識していただくような回答も入れていただいた方が良いと思います。岸井委員から何かございますか。
岸井委員	全く同感ですが、今ご説明いただいたアンケート結果の区の考え方というのは、表に出されるのでしょうか。それとも委員会のために作成していただいているのでしょうか。
事務局	現段階では表に出していません。今回のアンケート結果を踏まえて作成したものです。委員会で意見をいただいて差し支えがなければ、いずれアンケート結果も公表していかなければならないので、当然、アンケートで意見をいただいたからには、それに対して区がどのような考え方をしているのかは、お示した方が良くということで、そのたたき台として作成しております。
岸井委員	はい。先ほど集会所の件でご発言がありましたが、その部分がとても気になります。今回の公園の新しい取り組みの中でとてもいいチャンスだと思い拝見していました。いただいたアンケート結果の区の考え方については、「集会施設については、イベントや各種講習会などにも対応できる設備を備えた施設とし、交流の機会が増えるようにします。」ということで建物を造る感じは分かりますが、ただここでは「皆さんの活動を支援します。」「集会所でどんなことをやりたいのか。」など、むしろそういうことを積極的に問いかけるような書き方が良いと思います。プレイヤーはたくさんいらっしゃると思います。集会所というと、なんとなく自治会が管理していて、たまにみんなが集まって使うというようなイメージばかりが先行してしまう。むしろ、どのように使うかということを様々な分野の皆さんから積極的にアイデアをいただくようにすることが重要だろうと思います。基本構想はこの程度で良いと思いますが、実際に造るときにはそれがないと形にならないのではないかと思います。集会所だからといって、和室になるか洋室になるかわかりませんが、造ってお終りになると辛い感じします。せっかく公園と一緒にできて、いろいろな仕掛けができそうな気がしますので、頑張ってくださいと思います。
竹内委員長	岸井委員ありがとうございました。事務局からコメントございますか。
事務局	集会機能は機能としてですが、集会所という言葉にはとらわれずに、コミュニティルームなどいろいろな名称があると思いますが、そのようなものを拡大し

	<p>て、さらにいろいろな使い方ができるような施設を目指していきたいと思っております。</p>
竹内委員長	<p>細かいことでも回答の仕方は大事だと思います。「区民がやりたいことを応援します。」のようなスタンスで、区民の方がここでやりたいと思っているものをうまくサポートして、管理運営は自分事にしていただけるようなスタンスが良いと思います。木村委員にお聞きしますが、区民のやる気を引き出すコツなどありますかでしょうか。</p>
木村委員	<p>コツというほどでもないと思いますが、言える場、発言できる場をつくるのがとても重要だと思います。先ほどのゴミを捨てられないような公園ということで、例として愛知県岡崎市の籠田公園という公園があります。そこでは出した案があまり住民の気持ちに添えなかったということで、住民全員アンケートをやり、それをきっかけに住民たちが自ら話し合い、その公園について考える場をつくりました。そのことによって、本当にたくさんの人たちが訪れる公園になり、ゴミも落ちていたら、お客さんのみなさんが自ら拾っていくような、そういう場になりましたという物語がある公園です。そのような公園のでき方など、どのように市民の方たちが関わってきたのかを同じ行政なので聞きに行かれるのも良いと思います。また、ちょうど今、世田谷区の野毛公園の拡張地域についても、行政からオープンパークなどいろいろなことをやりたい人に声を掛けたことによって、区民があまりに積極的に走り出してしまって、コーディネーターが慌てるぐらいのことが起きていますので、声を掛けたら応えたい区民はたくさんいると思います。いろいろな事例ができていますので、見ていただけたらと思います。</p>
竹内委員長	<p>ありがとうございました。皆さんの意に沿うようにはどのような形が良いのかというところで、区民の側から黒坂委員はいかががでしょうか。</p>
黒坂委員	<p>はい。町会の行事など何かする時には、町会も高齢化していますので、若い方たちに参加していただけないだろうかと思い、お声を掛けていますが、例えばお祭りや盆踊りのお手伝いをお願いすると皆さんお手伝いしてくれます。すごいボランティア精神で、喜んで手伝っていただけますが、それが町会側の運営側にまわって一緒にやっていただけませんかとお声を掛けると良い返事がもらえません。これが難点です。大山西町のこの辺りですと1戸建てが多かったのですが、どんどん新しい世帯や団地も高齢化が進んでいますが、新しいワンルームマンションなどいろいろと状況が変化してきて、隣近所の顔が見えない中、声が掛けづらい。ですけど、顔見知りや通りがかりの人にお祭りをやる話をするお手伝いいただける。この辺りがどうしたものかなと思っています。そのように町会自体は高齢化が進んでいます。この公園の掃除についても高齢者のおばあちゃんたちが一生懸命掃除しているという状態ですが、それを見てもなかなか手伝ってはくれないです。福祉事務所の方と障がい者の方たちが、町会と一緒に公園を掃除しているのが現状ですが、ここをどう変えていくのか</p>

	が今の課題です。まだ変えられている状態ではないと思います。なかなか難しい問題です。
竹内委員長	ありがとうございました。今のご意見に関して何かございますか。
木村委員	高齢化が進んでいるのは、どこでも本当に深刻な問題で、現在私は、静岡で緑化コーディネーター養成講座というのをやっているのですが、そこでも「花の会」の皆さんが高齢化していて、もう活動が続けられないので、今後はどうしていこうかという悩みを抱えていらっしゃいます。結論ではないのですが、見ていますと若い方たちはどうも自分たち自らが生み出したいということをととも感じています。「花の会」の話の場合ですが、今ある「花の会」をそのまま受け継いでやってもらいたいと思われるのではなく、「花の会」という名前に拘らなくて全然構わないので、新たな「花の会」で若い方たちが同じように「まちの風景やコミュニティをつくっていく活動を新たに起こしてもらおう」ような働きかけをするといいと思います。今まで通りのやり方でもいいですし、私自身がいろいろな公園づくりのお手伝いをしている中では、やはり若い方たちに届きやすいのは、SNSによる発信だったりするので、そのようないろいろなことを複合的に組み合わせながら、関わってくださる方を増やしていくのが、地道ですが、今は大切なことだと思っています。以上です。
竹内委員長	ありがとうございました。このご意見に関して、事務局から何か補足などありますでしょうか。
事務局	花づくりというお話を伺った中、これからご説明する次のテーマのみどりの部分ですけれども、ここでは花づくりというワードも出てきます。例えば今公園の花づくりの花壇もあるのですが、苗は支給して植えてくださいとあって終わってしまっていることが多いので、そういうものではなく、まさに自分たちがやりたいようなデザインから考えていくといった仕組みづくりは大切だと思っています。次に説明をさせていただきます。
竹内委員長	はい。テーマ2の「交流」で、斉藤委員から何かご意見ありますでしょうか。
斉藤委員	アメリカでは、コミュニティが壊滅的になって新しい工夫をしない限り存続できないというところで、ある集落を新しくつくり、そこでどうしたら人々が交流できるかということをチャレンジしているところがいくつかあります。その中の1つのアイディアは、実のなる木をたくさん植たり、ブドウ棚を作ったりして、それぞれの季節の収穫をみんなで楽しもうということで、イモ類が出来たら茹でてみんなで食べたり、ブドウは収穫してブドウ酒にしてみんなで飲もうなどと、交流のための仕掛けをうまく使っているところもあつたりします。これは1つの事例ですが、この交通公園の施設でも何かそのような仕掛けが出来ていくと、改めてイベントをしなくても、季節の中でみんながより集まるような場ができてくる。そのようなものを見出していけたら良いと思いました。以上です。
竹内委員長	ありがとうございます。では緑にも関連してきましたので、事務局からご意見

	も受けつつ、緑の部分についてのご説明をお願いします。
事務局	事務局から資料説明 ＜テーマ3について＞
竹内委員長	ありがとうございました。それでは、テーマ3について、既にご意見をいただいているところもあるかと思いますが、委員の皆さまからご意見、ご質問も含めていただければと思います。いかがでしょうか。木村委員をお願いします。
木村委員	はい。ターゲット層にあまりいい感じで響かなかったとお話しでしたが、大丈夫だと思います。アンケート結果としては出てこなくても、花や緑に関する興味はターゲット層に限らず、環境やエコに関して小学校から教育の中で身に染み込んできている10代、20代、30代は、それが必要であると考えていらっしゃると思います。私もいろいろ公園でイベント的なことをしますが、30代、40代の親世代が、小さな子どもを連れて参加することが非常に増えていまして、それも土や虫をいじるなど自然のことを子どもが学べるような場をすごく求めているというのを感じていますので、そこをきちんとやっていくことが、これからの公園についてとても大事だと思います。そこで「環境も配慮しながら」という言葉も使われていますけれども、植物の植え方によっては十分に生物多様性の1つの場にできる公園になると思いますので、「生物多様性」というワードもどこかに入れてもいいと思いました。それから「適正な管理運営をしていきます。」と書いてありますが、先ほども区民が自ら係われるというようなことも想起できるような「区民に係わる緑のあり方を一緒に考えていきます。」というような回答もあっていいのではないかと思います。以上です。
竹内委員長	ありがとうございます。確かにこの回答ですと区ですべてやってくれるような印象になってしまうと思いますが、事務局はいかがでしょう。
事務局	普段、苦情・陳情をいただいている区の立場としては、ついこのようなりアクションをとってしまいます。先ほど心強いご意見をいただきましたので、今後はそのような事にも皆さまのご意見、参加も求めながら、その方向性で考えていきたいと思っております。ありがとうございます。
竹内委員長	他に緑のテーマについてございますか。黒坂委員をお願いします。
黒坂委員	公園課に質問があります。以前はハトやカラスがすごく多かったのですが、大分減りましたが、何か対策をしたのでしょうか。
竹内委員長	事務局いかがでしょうか。
事務局	庁内で調べてみないとわかりませんが、カラス対策といって普通に考えますと、ゴミの問題と巣の撤去だと思います。その巣の撤去を実際にやっているかどうかというのは調べないとわかりません。
黒坂委員	1回大幅な巣の撤去を確かにしました。まだハトはいますし、カラスもいます。「大きな樹木を残し」に関してのところだと、カラスはかなり上の方に巣をつくるので、必ず出てくると思います。以前よりは大分少なくなったということで、我々住民は良かったと言っていますが、またそれが、どんどん大きくなっ

	てくると、少し懸念されると思います。以上です。
竹内委員長	ありがとうございます。カラス対策がどうなっているのかは、事務局に調べていただく形でしょうか。
事務局	巢をつくったら木を切ってしまうという安易な方法があると思いますが、実際減っているということからすると、何かしらの対策が功を奏していることが考えられるので、そこはきちんと分析をして、安易に木は切ってしまいますということではなく、そういうことも含めて考えていきたいと思います。
黒坂委員	お願いします。
竹内委員長	それでは他にいかがでしょうか。では先に進めて再整備のゾーニングイメージの説明をお願いできますでしょうか。
事務局	事務局から資料説明 <ゾーニングイメージについて>
竹内委員長	では、この部分についてご意見伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。木村委員お願いします。
木村委員	少しだけ違和感があったところになりますが、「年代別にエリアを区分する」という文言について、年代別が良いのか、それとも行動別・アクティビティ別にエリアを区分するのが良いのかということを考えられると良いと思います。高齢者の皆さんは、元気がなくて、ただゆっくり過ごしたいなど、そういうわけでは全然ありません。80代後半でも十分に元気な方は、たくさんボランティアさんでいらっしゃるので、この年代別にはではなく、アクション・やりたいこと別というような表現にした方が良いのではないかと思います。以上です。
竹内委員長	ゆっくり過ごしたい人とアクティブに動きたい人と分けるということだと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	こちらに関しましては、主に高齢者目線ではなく、どちらかという子どもの安全という目線の意見が多く、これはなぜかといいますと、ゾーニングイメージ右下のピンクの部分「いこいと遊びのゾーン」の説明で、「ベンチで休んだり、読書したり、季節を感じながらつろげる空間と、主に幼児を対象とした遊具があるスペースを併せ持つゾーン」ということで、2つの機能を無理やり集約させているような印象がありますので、この辺りが入り交じって危ないのではないかという懸念があったと思います。ここに関しては、勿論どちらにするわけではなく、動線も考慮したスペースづくりを考えていきたいと思っています。その辺りの説明は、アンケートの回答になるかわかりませんが、誤解のないように進めて行きたいと思っています。
竹内委員長	他にいかがでしょうか。岸井委員お願いします。
岸井委員	前回までは、基本構想で区民の方のご意見を伺うということで、まだはっきりしないものは聞かないという話だったと思いますが、ゾーニングイメージの丸が重なっている図について、私の印象としては、それぞれすみわけをしてあつ

	<p>て別々にあるというのはもったいなく感じます。中心の3つ重なっている部分が重要で、交流スペースのようなもののイメージが、実はここにあると思っています。これは管理棟や集会所やコミュニティルームではなくて、みんながそこに集うことができる場所、そういうものが次の段階の計画論を立てる時、または民間と連携するときは、何か示してもいいという気がします。建物があるのは管理棟で、それは乗り物を管理しているところということではなく、公園が広がることも含めて考えると、中心の重なったところは、みんなが集まってくる場所というイメージを少し出した方がいいというのが私の印象です。これは先の話なので、直ぐにどうこうということはありませんが、これから検討していく中で、アンケート回答の結果から何か出すことは必要と思っています。以上です。</p>
竹内委員長	<p>ありがとうございます。今のご意見に対して、事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>室内だけの交流とは考えておりません。現時点でもお祭りや盆踊りをしている広場もございますので、そのような場所は交流の場として実際には主役になってくると思われます。当然、広場機能はなくしてしまうわけではないので、それが今ある場所なのかプラスアルファになるのかわかりませんが、おそらく端にある芝生よりは、中心付近になると思います。実際には、周回道路の中に含まれることになるかもしれませんが、そこはイベントや交流の中心のスペースは考えていきたいと思っています。</p>
岸井委員	<p>いや、場所という意味よりは、図の丸が3つ重なったところに交流があるのではないかということです</p>
事務局	<p>概念ということですね。はい、わかりました。ありがとうございました。</p>
竹内委員長	<p>はい。これはゾーニングイメージとあって、ゾーニングという言葉とイメージという言葉が2つあって、空間の配置で3つをはっきりと分けず、一緒の部分もありますが、空間の性質を3つに分けている意味で示されていると思います。その辺りが伝わりづらいので、今のご意見では、おそらく3つが重なる部分の役割が、集うというようなことではないかという話です。</p>
事務局	<p>確かにゾーニングと機能面と概念図が、入り交じったような感じになってしまっているので、そこは整理しなければならないのですが、概念図として捉えるのであれば、ご意見のとおり、交流が働いていると思っています。</p>
竹内委員長	<p>その辺りが区民の皆さんにとって、わかりづらいというご意見が多かったところだと思います。代案がすぐには浮かばないのですが、「使い方に合わせたゾーンをつくるけれど、3つのゾーンに共通するコンセプトはこうです」ということが示せればよいのでしょうか。アンケートも「コンセプトが不可解」や「よくわからない」という意見があったので、共通するテーマは中心にあり、こういうものだというのが少し加えられれば良いと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。当初はお示ししている現況図にゾーニングを重ねた案も考えたのです</p>

	<p>が、いろいろと今の段階では、はっきり言えない部分がありまして、このような図になってしまいました。結果的にそれが概念図のようになっていまして、概念としてもこれは必要なところでもあると思いますので、ゾーニングイメージという言葉をもう少し違う表現なり、補足の説明があってもいいというところは考えていかなければならないと思います。どういうネーミングや説明が良いのか、今はお示しできませんが誤解がないようにしたいと思います。</p>
竹内委員長	<p>もう少しわかりやすく、大きく変えるわけではなくて伝わりやすい形に修正していただくということでもよろしいですか。</p>
事務局	<p>その他、各3つのゾーンについていろいろテーマをお示ししていますが、ここに関してはこのままでもよろしいでしょうか。</p>
竹内委員長	<p>アンケートでは「特にここがダメだ」というよりは、「よくわからない」や「理想論すぎる」とのことだと思いますので、強烈に「これがない」や「これを入れてほしい」というのはないと思います。委員の皆さんはいかがでしょう。はい。では、3つのテーマはそのままとして、少し表現の仕方や重なって共通する部分をもう少しわかりやすく整理していただければ良いと思います。ゾーニングについての他にご意見ございますか。はい、黒坂委員お願いします。</p>
黒坂委員	<p>地元のみなさんは、道路の拡幅・付替について知りたがっています。先ほど「板橋警察とも相談して慎重に進めていきます。」とのお話でしたが、これは大山小学校がなくなったときに、ここに付替えるという話でしたけど、それは付替えるのか付替えないのかそのままなのか。まだ決定は分かりませんと言われると、住民の皆さんが戸惑うと思うのですが、具体的にはどうなるのでしょうか。これは付替えるのが前提で、協議してどういう扱いにするのかわからないということですか。それとも付替えないかもしれないということですか。</p>
事務局	<p>防災面の機能なども考慮して、道路としてなくすということでは考えていません。ただ、管理の問題で、昼間は通行止めにするとかしないとかが焦点になってくると思います。それに関しては、警察の協議が必要になってきますので、道路としては存在しますが、日々の利用をどうするかを詰めていかなければ、お示しができない。</p>
黒坂委員	<p>地元の皆さんは、どこに付替えるのかを知りたがっていて、とにかく私に聞いてきます。とりあえずは、マンションの沿ったところに6メートル道路だろう、それは防災のためだろう、という話をしていますが、これはもう決定なのですか。もう付替えるのは確実なのですか。それとも違うということも含まれているのですか。管理の問題というのは理解しています。それは、その内容を町会報で発表しますが、まだ付替えるのか付替えないのか分からないとなると、付替えないでくださいという人が結構多いと思います。せっかくできた芝生広場が分断されるなどいろいろな意見があるので、ゾーニングイメージは、その道路ができるのかできないのかで随分変わってくると思います。私は、町会報の新年号でこれを記事にしないといけないので、しっかり行政の回答をいただき</p>

	たいのですがいかがでしょうか。
事務局	はい。道路についての基本的な方針としては、旧大山小学校の跡地を整理するときに付替えるということで方針をお示しさせていただいて、今の時点でも基本的な区の考え方は、今までお知らせしている通り付替えるということです。今後の公園全体整備の計画づくりの中で、道路の扱いについては改めて検討する場があると思いますので、その中で極論をいいますと、付替えなくてもいいという話も出てきて、そのような方向性になる可能性も否定はできないと思っておりますが、今の段階で申し上げられることは、6メートル道路として付替える方針であるということをご理解いただければと思います。
黒坂委員	はい、わかりました。
竹内委員長	ありがとうございます。アンケートの4ページの下方に、拡張区域と既存公園の区域の図面がありますが、もし公文書として既に区の方針として、付替えの形で決まっている方針があれば、それを示しておかないと誤解を生むのではないかと思います。黒坂委員のご意見も、もう既に区として決めている部分は、図として示さないと理解は厳しいということだと思いますが、いかがでしょうか。
黒坂委員	ここは抽象的すぎる表現になっているので、どうなのかと思います。また、疑問を持たれるような文章ではなく、ここに道路を設置するということであれば、それを示していただかないと住民の理解は難しいと思いますね。
竹内委員長	はい。4ページの図は単純に今の状況、土地利用を示したものです。別の部署でも現段階で確定している付替え道路の法線があると思うので、既に決まっているのであれば、「道路はここで、その範囲について検討中」ということを示していただきたいです。また、今回の資料にスケジュールがついていませんが、次の段階でどこまで検討、決定するか、黒坂委員のご意見のように再整備ゾーンのイメージの1番下のところがどうなるかで、公園の形状も違ってきますし、利用も違ってくると思いますので、できるだけこの部分に関しては、最新の決定情報を公開できるように連携していただければと思います。私も今回、再整備の構想が決まりましたら、その後の計画のスケジュールをお尋ねしたいと思っております。道路部分については、事務局から今の状況をお聞かせいただければと思います。図面はあるということ、もう公開されている資料はあるということよろしいですか。
事務局	付替え道路の想定線は出ています。それは、隣接しているマンションとの取決めで、決まっているところがありますので、付け替えを前提にした場合の想定線は出ています。
竹内委員長	では、それが前提の議論で大丈夫ですね。ただ、交通規制や管理をどうするかが、まだ決まっていないということ、地域の方に既に方針として説明しているのであれば、その情報に更新した方がいいと思います。
事務局	一番大きな課題は、夜間の管理をどうするかということと昼間も交通規制がで

	<p>きるのかというところになります。例えば、極論として廃道にした場合、そこに全く道路がない状況なのかと言いますと、やはり防災機能として、例えばマンションで火事があった場合にハシゴ車はどうするのかということがありますので、廃道にして区道でなくなったとしても、そこには道路の機能として残すべきということで考えています。そのようなことを含めて、いろいろな可能性を考えて進めていますので、明確な回答ではなくて申し訳ありませんが、現時点では付け替えが前提になっております。ただ、他の可能性も検討していかなくてはならないと考えています。</p>
竹内委員長	<p>ありがとうございます。区民の方に既に示している図があればよいのですが、まだ図としてはないのですか。</p>
事務局	<p>付替え道路の図としては、既にお示しているベースのものがあります。認定の区道になっていきますので、基本的に廃止することにはなっていないということです。付け替えが前提ということになっています。</p>
竹内委員長	<p>はい。この部分の回答をするにあたっては、現段階の想定線は必要だと思いますが、ご専門の立場から岸井委員いかがでしょうか。</p>
岸井委員	<p>公園の中に一般車が通るといのはあり得ないと思っています。緊急車両と管理用の車が通ることはあるわけですが、一般車が通行するような公園計画を立てるのは、違和感がありまして、公園の拡張に合わせて道路は再整備するなり、違う形式で管理するのではないかと思います。過去のマンションとの経過を十分に理解していませんので、いろいろとあるかもわかりませんが、公園を考えていく立場からすれば、極力公園の邪魔にならないような位置にうまく配置していただく、使い方も考えていただくということなのではないかと思っています。そもそも区画道路の類ですから、皆さんのおっしゃるとおりにお考えいただければ、やはり安全が第一だと思います。</p>
竹内委員長	<p>ありがとうございます。時間が残り10分になりましたので、これまでの全体を通して、資料4は確定するにあたって、ここは抑えておきたいということがございましたら、ご意見をいただければと思います。斉藤委員いかがでしょうか。</p>
斉藤委員	<p>今、議論がありました道路の線形については、ゾーニングに関しても広がった方がよいか広げない方がよいかのイメージについても、皆さんのアンケートでもいろいろと意見の差が出ていると思いますので、道路の線形が入れられれば入れていただくと良いと思います。あとはアンケートの性格からすれば、これですべてではないので、アンケートのご意見を反映させて次のステップに行くから、もっとビジュアルに検討が進んだ段階で、再度アンケートを取っていくというステップバイステップでやっていかないといけないと思います。一般の方達の意見では、抽象的な内容だとこのようなアンケート結果になってしまうのは、やむを得ないと思います。基本構想が表に出ていくことに関しては、本日の事務局の回答と委員会で議論されたものが反映されることで十分では</p>

	ないかと思えます。以上です。
竹内委員長	ありがとうございました。ステップが進むにつれて、適宜に区民の方、住民の方のご意見を伺っていくということですね。黒坂委員いかがでしょうか。
黒坂委員	斉藤委員と共通の意見で、この構想ではまだ何も見えていなくて、しっかりまとめて、もう一、二度、住民の意見を入れていけば、段々と仕上がっていくと思えます。これでは抽象的なものにしか仕上がっていないので、再度の意見聴取はやっていただきたいということ。先ほどの木村委員から言われた、若い方たちが自分たちから立ち上げて新しい活動をしているというご意見をいただいて、町会独自の考え方、高齢者から参加してくださいという立場でしか物事を考えていなかったのは反省しました。行政が携わって手助けするのではなく、自らが参加してくださいというものを示していると、また違う意見が出てくると思いましたし、町会報でも取り上げていきたいと思っております。以上です。
竹内委員長	町会報で取り上げていただけると素晴らしいですね。いくつか他区の公園に関わらせていただいているのですが、区民の方に公園で何をやりたいかを出してもらおうと、若い人がすごく楽しんでやっています。フリーマーケットや楽器の演奏会を開いてみたいなど、若い人からすごく意見が出てきます。先ほど斉藤委員のご意見のとおり、ここで何か植物を育てて料理をして、みんなで芋煮会をやりたいなど、自分がやるということで、たくさん意見が出てくることありますので、町会の広報に出していただけるととても良いと思えます。ありがとうございます。では、木村委員いかがでしょうか。
木村委員	町会の広報は本当に素晴らしいので、それも含めて情報発信は頻繁にしないと広くいろいろな方に伝わらないというのがありまして、もう段階ごとにどんどん情報を出していただくと興味を持つ方が増えてくると思えます。それからアンケートは意見を言うだけになってしまうので、ある程度の検討が進みましたら実際に身体を動かしてくれる人に出てきてもらって、先ほど竹内委員長がおっしゃっていたように、公園で何をやりたいかを聞くと皆さんから意見が出てきますという話もありましたが、実験的にもうその場で実際にやってもらう。公園のお掃除大会をイベントでやりたいという人がいたら、「是非やりましょう」みたいなことでもいいですし、実際に体を動かしている人から出てくる意見は、傍観しているような意見ではなくて、実際に動いている人の意見なので、後に繋がっていくと思えますので、そのような方法も徐々にチャレンジしていただければと思います。以上です。
竹内委員長	ありがとうございます。最後に岸井委員からお願いします。
岸井委員	はい、ありがとうございます。これから先をどのようなシナリオで描いているかで違ってくると思っています。時々お話に出てくる民間の力を使うということの本気で考えているとすれば、今回は機能をいくつかにばらして、このような抽象的なもので皆さんのご意見を伺っているわけですが、もし民間企業に提

	<p>案を求めるとすれば、これだけは必須ということをごどこかで整理しなくてはいけと思っています。それは多分、先ほどお話をしていた交流スペースのところ、そのような言葉で括られるものになると思います。集会所や管理施設という言葉ではない。もし民間のアイデアを求めるようなことをお考えであるならば、具体的に提案してほしいものをいつかはメッセージでしっかりと出さなければいけないという気がいたします。一方で、区で発注されて、設計を固めていくという事であれば、このような議論を重ねていけば当然伝わっているので、それはそれで良いとは思いますが、先ほど木村委員からありました参加していただく仕掛けというのは同時に動かしていかないと、やはり区が主導してつくったという話になって、人のものみたいな感じになってしまう。そこをどのようにするかは、少し先の話をお考えいただいて、シナリオをつくると思います。以上です。</p>
竹内委員長	<p>ありがとうございました。皆さんの意見を総じてまして、今回の構想はこのまま抽象的な形で3つのコンセプトを柱にしてまとめるということをご理解をいただいたと思います。これから基本計画、基本設計、実施設計と進むにつれて、適宜に区民の方々へ情報発信をすると共に、できれば参加の仕組みをつくらせていただきたいというのが全体のご意見だと思いますが、事務局はいかがでしょうか。今後の想定スケジュールも含めてお話しいただければと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ご意見のとおり基本構想はあまり具体的なところまで描けないので、本日いただいた意見を踏まえまして、修正を加えたものを基本構想として決定させていただきたいと思います。今後については、来年に民間事業者のサウンディングがありますのでそれに対する準備と、それから先ほどお話をいただいたUDアドバイザー会議を予定しております。サウンディングもおそらく1回ではなく2回ぐらい実施した後に、民間の感触を調査した上で進めれば、公募するというところで進めて参りたいと思います。基本計画に関しては、公募以降の話になってくるとは思いますが、また地元の関わりということもありますので、ワークショップもその中で開催させていただき、さらに区民参加という話もありましたので、花づくりがメインになると思いますが、それに限らずそれも含めて、そこでさらに区民の方と濃密な関係が築ければ、さらに参加ということで将来的に完成までまだ時間がありますけど、下地づくりができるように進めて参りたいと思っています。</p>
竹内委員長	<p>ありがとうございます。以上で議事は終了します。素案の修正点ですが、本日いただいたご意見で修正を加えてもらって、他には図のところになります。大きな柱は3つになりますが、もう少し分かりやすい形で整理していただくということです。今後は、事務局と私で整理をお任せいただければと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>
竹内委員長	<p>ご協力ありがとうございます。それでは進行を事務局に戻したいと思います。</p>

以上で、議事終了

### 3. 閉会